

# エコアクション21 環境経営レポート

対象期間 2024年4月1日～2025年3月31日

2025年6月27日発行

2025年7月30日改定

壊して、  
生かす。



株式会社 力組

# 目次

ページ

<b>I 組織の概要</b>	… 3
1) 組織概要に関する情報	
1、事業所及び代表者名	
2、創業	
3、設立	
4、資本金	
5、所在地	
6、環境管理責任者及び担当者連絡先	
7、事業の概要	
8、事業の規模	
9、用途地域	
2) 許可内容・許可一覧	… 4
1、許可の内容	
2、事業の範囲	
3) 施設等の状況	
1、処理施設	
2、積替え・保管施設	
4) 処理工程図	(別紙1)
5) 処理実績	(別紙2・3)
6) 保有車輛・保有施設	… 5
1、保有車輛	
2、保有施設	
3、保管施設	
<b>II 対象範囲</b>	… 6
1) サイト	
2) 事業活動	
3) 要員	
4) 環境経営レポートの対象範囲	
<b>III 環境方針</b>	… 7
<b>IV 環境組織図</b>	… 8
1) 組織図	
2) 役割・責任・権限	
<b>V 環境目標</b>	… 9
<b>VI 環境目標の実績</b>	… 10
<b>VII 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況</b>	… 11
<b>VIII 環境関連法規の取りまとめ表及び遵守状況</b>	… 13
1) 環境関連法規等の順守状況	
2) 違反、訴訟の有無	
<b>IX 産業廃棄物処理業者の優良産廃処理業者認定制度</b>	
<b>X 代表者による全体評価と見直しの結果</b>	

(別紙4)

# I 組織の概要

## ◆ 1) 組織概要に関する情報 ◆

- 1、事業所及び代表者氏名 株式会社 力組 代表取締役 仲宗根 朋希
- 2、創業 1982年 4月 15日
- 3、設立 1989年 3月 23日
- 4、資本金 2,000万円
- 5、所在地
- ◆本社 〒455-0806 愛知県名古屋市港区明正一丁目143番地  
TEL 052-384-0558 FAX 052-382-3739
  - ◆リサイクルセンター 〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23番地  
TEL 0567-57-0027 FAX 0567-57-0028
  - ◆積替え保管場 リサイクルセンター内
- 6、環境管理責任者及び担当者連絡先
- ◆責任者氏名 仲宗根 彩香
  - ◆担当者連絡先 TEL 052-384-0558 FAX 052-382-3739
- 7、事業の概要 建設業（とび・土工工事業、解体工事業、建築工事業）  
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業

## 8、事業の規模

活動規模		単位	2022年度	2023年度	2024年度
売上高		百万円	666	615	730
従業員		人	25	22	21
床 面 積	本社	m2	186.69	186.69	186.69
	リサイクルセンター	m2	1,879.99	1,879.99	1,879.99
	積替え保管場	m2	67.61	67.61	67.61
処 理 量	収集運搬量	t	4,800	5,860	3,566
	中間処理量	t	2,732	4,443	3,625
	解体工事件数	件	364	464	474

## 9、用途地域

- ◆本社 近隣商業地域
- ◆リサイクルセンター 工業地域

## ◆ 2) 許可内容・許可一覧 ◆

### 1、許可の内容・事業の範囲

内容	許可年月日 有効年月日	許可番号
建設業（解体工事業）	令和5年11月15日	愛知県知事許可(特-5) 第34704号
	令和10年11月14日	
建設業（とび・土工工事業）	令和5年11月15日	愛知県知事許可(般-5) 第34704号
	令和10年11月14日	
建設業（建築工事業）	令和5年11月15日	愛知県知事許可(特-5) 第34704号
	令和10年11月14日	

内容		許可年月日 有効年月日	許可番号	許可内容										
				汚泥	プラスチック類	ゴムくず	金属くず	リトラスくず・コンクリートくず及び陶磁器	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず		
産業廃棄物収集運搬業														
愛知県	積替え・保管を除く	令和4年11月9日	第02310047984号							●	●	●		
	積替え・保管を含む	令和9年6月9日		●		●	●	●			※1	※1	※1	
岐阜県	積替え・保管を除く	令和4年1月15日	第02100047984号	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和9年1月14日		※3		※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3	※3
三重県	積替え・保管を除く	令和3年12月11日	第02400047984号	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和8年12月10日		※3		●	※3	※3						
静岡県	積替え・保管を除く	令和4年10月3日	第02400047984号	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和9年10月2日		※3		●	※3	※3						
産業廃棄物処分業			選別	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
		令和4年11月4日	破碎					●	●					
		令和9年6月17日	破碎					●						
			第02320047984号											

◆ 3) 施設等の状況 ◆

処理施設 施設所在地		設置年月日	処理能力	許可内容										
				汚泥	プラスチック類	ゴムくず	金属くず	リトラスくず・コンクリートくず及び陶磁器	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず		
選別施設 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23		平成14年4月25日	143.04m <sup>3</sup> /日		●		●	●	●	●	●	●	●	●
破碎施設 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23		平成30年8月1日	4.62 t /日						●					
			3.63t/日					●						
破碎施設 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23		令和4年4月22日	44.8t/日						●					
積替え保管施設 施設所在地		面積	保管上限	高さ	処理品目									
					汚泥	プラスチック類	ゴムくず	金属くず	リトラスくず・コンクリートくず及び陶磁器	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	
保管場所 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23		23.18m <sup>2</sup>	54.04m <sup>3</sup>	—	●		●	●	●	●				
					※2		※1	※2	※2					

※1 水銀使用製品産業廃棄物を含む

※2 石綿含有産業廃棄物を含む、水銀使用製品産業廃棄物を含む

※3 石綿含有産業廃棄物を含む

◆ 4) 処理工程図 ◆ 別紙1に示す

◆ 5) 処理実績 ◆ 別紙2・3に示す

◆ 6) 保有車輛・保有施設 ◆

1、保有車輛

車輛区分	種類	メーカー・型式・車種	容量
車輛(解体)	油圧ショベル	SH235X-7	0.7m <sup>3</sup>
		PC138US-11	0.5m <sup>3</sup>
		PC78US-10	0.28m <sup>3</sup>
		PC138US-11-10	0.45m <sup>3</sup>
		PC128US-10	0.45m <sup>3</sup>
		ZX130K-3	0.5m <sup>3</sup>
運搬車輛	コンテナ	日産KK-MK25A	4 t
		いすゞKK-FRR35E4S	4 t
		いすゞ2RG-FRR90S2	3.7 t
	ダンプ	UDSKG-MK38L	3.25 t
		いすゞ2RG-NKR88AN	3 t
		いすゞKL-CXZ51K4	9.2 t
		UDBDG-MK36C	3.3 t
車輛(処分)	フォークリフト	トヨタ 7FD30	2,800kg
	ペイローダー	コマツWA100-5	1.3m <sup>3</sup>
営業車輛	普通車	トヨタ6AA-ZVW51/プリウス	1.79 ℓ
		トヨタDAA-ZVW50/プリウス	1.79 ℓ
		トヨタ6AA-ZVW51/プリウス	1.79 ℓ
		サクシード6AE-NHP160V	1.49 ℓ
		トヨタDAA-NHP10/アクア	1.49 ℓ
		トヨタ6AA-NHP10/アクア	1.49 ℓ

2、保有施設

リサイクルセンターは、下記設備をベルトコンベアーで組合せ連続的に処理品目を分別しています。

機械設備	種類	動力・負荷・容量
集塵機ファン	サイクロン、フード付	22kw
ベルトコンベヤ 6基	ベルトフィーダー B1	900W×4.5メートル
	ベルトコンベヤ B4	750W×20.3m
	ベルトコンベヤ B2	600W×17.2m
	ポータブルベルトコンベヤ B5	450W×5メートル
	ベルトコンベヤ B3	600W×8.5m
	ポータブルベルトコンベヤ B6	500W×5m
破碎機	6P低圧全閉外扇型	22KW
破碎機	フリッタ FRB2	15KW
フルイ機	一次振動フルイ機	5 f t × 14 f t -2段
	二次振動フルイ機	4 f t × 12 f t -1段
磁選機	モーター2個	2.6kw、2.2kw



# Ⅲ 環境方針

## 基本理念

株式会社力組は、解体業と産業廃棄物処理業に両軸をおいて事業展開しています。『壊して、生かす。』をモットーに事業活動の中で解体現場から最終処分までの責任を担い、産業廃棄物リサイクル向上を目指して、循環型社会構築への取組を積極的かつ継続的に改善していきます。

## 基本方針

### 1 環境法規等の遵守

事業活動にあたって、法規制・条例及びその他の要求事項を遵守します。

### 2 二酸化炭素排出量の削減

電力使用量削減、またエコドライブを徹底して二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量を削減します。

### 3 廃棄物リサイクル率の向上

廃棄物の最終処分量を減らし、リサイクル率の向上に取り組みます。

### 4 解体工事現場における負荷低減

現場での分別解体を徹底します。

現場周辺への騒音、振動、ほこり、交通の妨害等起こさない様努力します。

### 5 水使用量の削減

節水に努め、水使用量の削減に取り組みます。

### 6 グリーン購入

事業活動を通じ、グリーン購入を推進します。

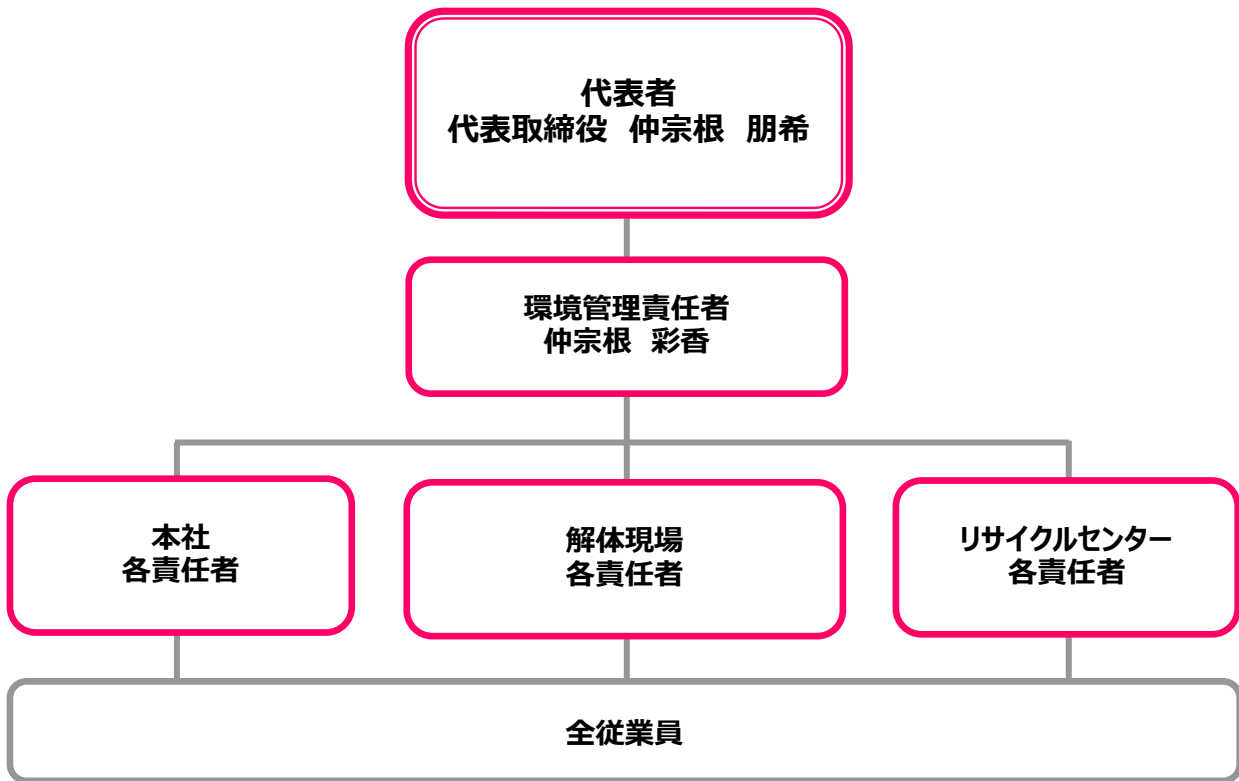
制定 2010年9月1日

改定 2023年6月19日

株式会社 力組  
代表取締役 仲宗根 朋希

# IV 環境組織図

## ◆ 1) 組織図 ◆



## ◆ 2) 役割・責任・権限 ◆

役職	役割・責任・権限
代表者	1、環境方針作成・環境管理責任者任命 2、取組に対する資源を準備 3、取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	1、環境管理システム総責任者 2、環境目標・環境活動計画の作成 3、文書の作成・システム運用の事務管理 4、環境管理活動計画の実績集計 5、環境活動レポートの作成 6、教育実施・状況・結果確認 7、環境活動レポートの確認
各サイト責任者	環境目標達成するための活動の推進・提案
全従業員	自主的・積極的に環境活動へ参画 ・エコドライブ、空調管理、節電の徹底 ・分別解体、廃棄物選別 ・節水

# V 環境目標

## 環境目標・取組みの基本方針

事業活動が環境にどのような影響を与えているのかを考え、化石燃料、電力使用による

二酸化炭素排出量の削減、及び水使用量の削減、また、廃棄物リサイクル率(以後、RC率とします)の向上、グリーン購入などを重点に取組みます。

		単位【原単位】	基準数値 2020.4- 2021.3	【第14期】目標 2024.4- 2025.5	【第15期】目標 2025.4- 2026.5	【第16期】目標 2026.4- 2027.5	【第17期】目標 2027.4- 2028.5	前年比 (%)		
二酸化炭素排出量の削減	電力	産廃部門	kWh/廃棄物処分量 t	6.82	6.62	6.55	6.48	6.41	1	
		本社	kWh	4263	4135	4092	4050	4007	1	
	燃料	産廃部門	産廃重機	(軽油(重機)+ガソリン)ℓ / 廃棄物処分量 t	3.1	3.05	3.04	3.02	3.01	0.5
			産廃車両	軽油(車両)ℓ / 廃棄物収集運搬量 t	5.06	4.98	4.96	4.93	4.91	
		解体工事部門	解体重機	ℓ/廃棄物現場排出量 t (自社施工)	5.33	5.33	5.33	5.33	5.33	---
			営業車両	ℓ	6082	5991	5961	5930	5900	0.5
kg-CO2 (合計)			203,492	201,808						
廃棄物RC率向上	産廃	産廃部門	再資源化量 t / 廃棄物処分量 t × 100	73.4	73.40	73.40	73.40	73.40	---	
			リサイクル瓦 新規受入先	50	50	50	50	50	---	
	解体工事部門	再資源化量 t / 廃棄物現場排出量 t × 100	83.6	84.85	85.27	85.69	86.11	0.5		
	一廃	本社	再資源化量 t / 廃棄物社内排出量 t × 100	27.69	28.1	28.2	28.4	28.5	0.5	
水使用量削減	水使用量	産廃部門	m <sup>3</sup> /廃棄物処分量 t	0.0481	0.0474	0.0471	0.0469	0.0467	0.5	
		解体工事部門	m <sup>3</sup> /廃棄物現場排出量 t	0.1018	0.1018	0.1018	0.1018	0.1018	---	
	本社	m <sup>3</sup>	52	50.4	49.9	49.4	48.9	1		
グリーン購入		点	14	14	14	14	14	---		
電子マニフェスト導入	一次	1次電子マニフェスト枚/全1次マニフェスト枚×100	89.3	92.0	92.9	93.8	94.7	1		
	二次	2次電子マニフェスト枚/全2次マニフェスト枚×100	75	75.8	76.5	77.3	78.8	1		

・ 電力の二酸化炭素排出係数は中部電力(株)の2016年度、0.480を使用しています。

・ 当社は、化学物質については使用はありません。

2020年度の数値をベースとして、すべての目標値を見直しております。

・ 本社電力、営業車両燃料、本社排水量は原単位ではなく実数値です。

・ 営業車両においては台数増加の為、11期の総量を改めて把握し、それをベースに12期以降の目標を定めます。

# VI 環境目標の実績

			単位【原単位】	基準数値 2020.4- 2021.3	【第14期】目標 2024.4- 2025.5	【第14期】実績B 2024.4- 2025.3	B/A	評1 ※1	目標達成・ 未達の原因等	
二酸化炭素排出量の削減	電力	産廃部門	kWh/廃棄物処分量 t	6.82	6.62	6.65	1.00	×	今年は処分量は減少したが使用電力が増加した。夜間作業や休日作業があった為と思われる。	
		本社	kwh	4,263	4,135	4,244	1.03	×	残業が増加に比例して電力も増加した。作業効率化と実数値の把握に努めたい。	
	燃料	産廃部門	産廃重機	(軽油(重機)+ガソリン) ℓ / 廃棄物処分量 t	3.10	3.05	2.46	0.80	○	エコドライブ等実施ができていた。
			産廃車両	軽油(車両) ℓ / 廃棄物収集運搬量 t	5.06	4.98	2.53	0.50	○	
		解体工事部門	解体重機	ℓ/廃棄物現場排出量 t (自社施工)	5.33	5.33	4.41	0.83	○	大規模現場でも、休憩時や重機の未使用時にエンジンオフ等の取り組みができていた。
		営業車両	ℓ	6,082	5,991	3,982	0.66	○	ドライブシステムの導入により、走行管理を見える化。自身の運転評価もでき安全運転の意識向上が図れた。	
kg-CO2 (合計)			203,492	201,808						
廃棄物RC率向上	産廃	産廃部門	再資源化量 t/廃棄物処分量 t ×100	73.40	73.40	87.18	1.19	○	全体の処分量は4443 t → 3625 t と減少したが、RC瓦の処分量が2418 t → 2624 t に増加したため全体的にRC率が上がった。	
		リサイクル瓦 新規受入先		50	50	57	1.14	○	新たに目標件数を設定し、本年度は達成できました。新規顧客獲得に向け、SNS等活用して普及していきたい。	
	解体工事部門	全再資源化量(排出) t / 全排出量 t ×100	83.6	84.85	88.52	1.04	○	排出量は11768 → 11531 t と減少。木くず・繊維くず・がれき類のRC率が15.7 → 18.7%と増加していたためRC率が向上した。		
	一廃	本社	再資源化量 t/廃棄物社内排出量 t ×100	27.69	28.1	28.24	1.01	○	分別を徹底できていた	
水使用量削減	水使用量	産廃部門	m³/廃棄物処分量 t	0.0481	0.0474	0.1302	2.75	×	瓦の破砕機を使用する際に清掃が必要となるため増加してしまっ。節水を心がけていきたい。	
		解体工事部門 ※1	m³/水使用に関する現場の排出量 t	0.1018	0.1018	0.0340	0.33	○	粉塵等飛散防止や現場清掃のため水使用量は現場規模によって増減はあるが節水に努めた。今後も維持したい。	
		本社	m³	52	50.4	50	0.99	○	毎年数値に大きく変動はないように思うが、実数値の把握に努め、節水に努める。	
グリーン購入			点	14	14	15	1.07	○	優先して購入できていた	
電子マニフェスト導入	一次	1次電子マニフェスト枚/全1次マニフェスト枚 ×100	89.3	92.0	100.0	1.09	○	課題であった下請業者への電子マニフェスト推進により電子化100%を達成できた。今後も維持したい。		
	二次	2次電子マニフェスト枚/全2次マニフェスト枚 ×100	75	75.8	95.5	1.27	○	委託先の電子マニフェストが普及してきたように感じる。今後も推進していく。		

単純比較でB/Aが削減目標において1以下、向上目標では1以上なら目標達成で○印、それ以外は目標未達で×印。

※1 解体工事現場において排水量は把握のみとする

実績値	電力 kwh	軽油(重機) ℓ	軽油(車両) ℓ	ガソリン ℓ	収集運搬量 t	処分量 t	再資源化量(処分) t
解体	-	28,224	-	3,982	-	-	-
産廃	24,091	7,406	9,020	1,495	3,566	3,625	3,160
本社	4,244	-	-	-	-	0.085	0.024

実績値	全排出量 t	全再資源化量(排出) t	排出量(自社施工) t	再資源化量(自社施工) t	水使用量 m³	水使用に要した現場の排出量 t	瓦受入先
解体	11,532	10,208	6,403	5,248	147	4,322	-
産廃	-	-	-	-	472	-	57
本社	-	-	-	-	50	-	-

実績値	電子マニフェスト枚	紙マニフェスト枚
解体 一次	2,586	0
産廃 二次	213	10

kg-CO2	電力	軽油(重機)	軽油(車両)	ガソリン	
解体	-	72,818	-	9,245	
産廃	11,371	19,107	23,271	3,472	
本社	2,003	-	-	-	
<b>合計</b>	<b>13,374</b>	<b>91,925</b>	<b>23,271</b>	<b>12,717</b>	<b>総合計</b>
					<b>141,287</b>

昨年度	10,200	92,823	61,628	20,116	184,767
-----	--------	--------	--------	--------	---------

# Ⅶ 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況

第14期・環境活動計画(2024年4月1日～2025年3月31日)



削減率・達成率



実数・リサイクル率

1.二酸化炭素の排出量の削減		2024年												2025年		
運用期間環境目標		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
取組内容	毎月の電力使用量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	照明・冷暖房・PC時間管理		○			○			○			○			○	
	冷暖房温度設定(夏季26℃、冬季22℃)															
	空調設備点検(フィルター清掃)				○								○			
取組内容	機械設備稼働状況調査				○							○				
	毎月の燃料使用量の把握		○			○				○				○		
	エコドライブの徹底															
	車両日報の提出徹底		○			○				○				○		
取組状況																
削減率(%)	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	評価	次年度の取組内容								
電力(産廃)	81	64	61	94	95	100	周知することで意識向上につながっているが徹底していく。	継続								
電力(本社)	100	83	88	98	97	103	周知することで意識向上につながっているが徹底していく。	継続								
燃料(産廃重機)	73	72	69	92	73	80	エコドライブや車両管理表等の提出努力がみられ、実施されている	継続								
燃料(産廃車両)	—	80	80	98	44	50	エコドライブや車両日報の提出努力がみられ、実施されている	継続								
燃料(現場)	92	29	103	84	70	83	実施されているが、遠方の現場や規模の大きい現場ではさらに意識を上げる特に県外現場や大規模現場への対策を考える	継続								
燃料(現場営業)※	3751	5754	6082	7669	5980	3982	車両台数の増減があるため、今後も実数の把握に努める	継続								

2.廃棄物リサイクル率の向上		2024年												2025年		
運用期間環境目標		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
取組内容	毎月の廃棄物排出量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	廃棄物分別の徹底															
	梱包材・段ボール等紙類のリサイクル															
	コピーの裏紙使用徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	廃棄物の資源化率向上															
	マニフェスト管理・保管															
取組状況																

# Ⅶ 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況

第14期・環境活動計画(2024年4月1日～2025年3月31日)



削減率・達成率



実数・リサイクル率

達成率 (%)	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	評価	次年度の取組内容
<b>リサイクル率 (産廃)</b>	99	96	91	106	122	119	日々の管理・廃棄物量等の把握がきちんと出来、実施されているが混合廃棄物(壁土等)の選別分別を特に今後も徹底していく	継続
	87.94	83.52	79.71	77.08	96.04	87.18		
<b>リサイクル瓦受入先</b>	—	—	—	—	—	114	今年度はロコミによる新規獲得が増加したように思う。今後はより知ってもらうためにSNS等での発信を中心に発信していきたい。	継続
<b>リサイクル率 (本社)</b>	101	94	101	114	104	101	分別を徹底し実施されているがさらに努力が必要	継続
	35.42	27.69	30.16	31.55	28.84	28.24		
<b>リサイクル率 (現場)</b>	103	125	114	102	105	104	現場での選別を徹底しており再生処分率を高めるよう意識し、実施されているがさらに努力が必要	継続
	81.9	99.64	91.6	85.14	88.71	88.52		

3.水使用量の削減							取組状況					
運用期間環境目標			2024年			2025年						
取組内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
毎月の水使用量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
節水の徹底		○		○		○		○		○		○
水漏れ等の点検		○		○		○		○		○		○
削減率 (%)	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	評価		次年度の取組内容			
<b>水使用量 (産廃)</b>	53	93	54	80	145	275	瓦チップの処理後の清掃で水使用量が増加してしまった。必要な作業なので節水が難しいが、周知し節水に努める。		継続			
	82	103	74	105	306	472						
<b>水使用量 (現場)</b>	88	75	48	74	56	33	解体現場では現場規模や周辺への環境配慮のため徹底が難しいが、意識することを心掛ける		継続			
	727	1594	881	399	101	147						

4.グリーン購入の推進							取組状況					
運用期間環境目標			2024年			2025年						
取組内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
グリーン購入量の把握					○							○
事務用品のグリーン率優先購入					○							○

5.電子マニフェスト導入							取組状況					
運用期間環境目標			2024年			2025年						
取組内容	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
電子マニフェスト取扱い会社の把握・優先					○							○
取引先への電子マニフェスト導入を推進					○							○

達成率 (%)	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	評価	次年度の取組内容
<b>グリーン購入</b>	123	117	108	107.14	107	107	優先して購入できており、実施されている	継続
	16	14	13	15	15	15		
<b>1次マニフェスト</b>	156	103	103	110.14	109	109	電子化率100%を達成しました。今後も維持できるように取引業者へ推進していきたい。	継続
	86.17	89.3	90.28	98.4	98.5	100.0		
<b>2次マニフェスト</b>	—	—	—	69.9	130	127	2次取引先のほとんどで電子化に移行できた。今後も取引先へ推進しながら取り組んでいきたい。	継続
	—	—	—	69.9	97.4	95.5		

# VIII 環境関連法規の取りまとめ表及び遵守状況

## 1) 環境関連法規等の順守状況

環境関連法規については、遵守状況を確認した結果、下記法規を遵守していることを確認しました。

「環境基本法」・「建設リサイクル法」・「廃掃法」・「家電リサイクル法」・「フロン排出抑制法」・  
「振動規制法」・「騒音規制法」・「浄化槽法」・「消防法」・「オフロード法」・「大防法」・  
「廃棄物の適正な処理の促進に関する条例」・「県民の生活環境の保全等に関する条例」

## 2) 違反、訴訟の有無

過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟も1件もありませんでした。

# IX 産業廃棄物処理業者の優良産廃処理業者認定制度

環境保全への取り組み及び遵法性については、エコアクション21環境経営システムの運用を継続し、認定取得を目指します。

# X 代表者による全体評価と見直しの結果

1 ・ 見 直 し 関 連 情 報	項目		確認
	1	環境目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	2	環境活動計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取り組みます
	3	環境関連法規要求一覧及び順守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 確認しました
	4	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特にありませんでした
	5	問題点の是正・予防措置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 特にありませんでした
	6	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 特にありませんでした

2 ・ 代 表 者 に よ る 全 体 評 価 ・ 見 直 し 指 示	<p>【電力使用量・水使用量（産廃部門）】 産廃部門において電力使用量と水使用量の増加があった。瓦チップ事業の開始により、施設の稼働時間が増えたため電力使用量が増加し、機械や設備を清掃する際に水の使用が増えたと報告を受けた。夜間作業もあったので作業手順と作業時間を見直し、節電・節水を心掛けるよう指導した。</p> <p>【電力使用量（本社部門）】 本社部門において電力使用量が増加した。仕事量の増加により残業時間が増えた結果、本社内の電力使用量増加に繋がったと報告を受け、産廃部門同様、作業手順と作業時間を見直すよう指示した。</p> <p>全体的な仕事量の増加により、本社や産廃施設の使用率が増えたことが要因であると思う。会社全体で働きやすい職場環境を整えることが節電や節水に繋がっていくと思うので、今後は社内環境や作業効率の見直しを課題としたい。</p> <p style="text-align: right;">2025年6月19日 株式会社 力組 代表取締役 仲宗根 朋希</p>			
	見直し項目		変更の必要性	有の場合の指示事項等
	1	環境方針	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	2	環境目標	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	3	環境活動計画	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	4	その他のシステム要素	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
	5	その他（外部への対応）	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	

別紙1：産業廃棄物の一連の処理の行程

令和6年4月1日

～

令和7年3月31日

受入	廃棄物種類	処理方法	委託先	処分方法・利用方法等	委託先	処分方法・利用方法等	
受け入れ	木くず 繊維くず がれき類	選別			A社	破砕(燃料ﾌｯﾌﾟとして売却)	
					B社	破砕(ﾌﾗ・堆肥として売却)	
					C社	破砕(路盤材として再生)	
				D社	破砕(路盤材として再生)		
				E社	破砕(路盤材として再生)		
				F社	破砕(路盤材として再生)		
				G社	管理型埋立		
				H社	管理型埋立		
				I社	選別(洗い砂として有価売却)		
	混合廃棄物 (残さ)			J社	選別	K社	圧縮(再生塩ビ管・再生燃料化)
						L社	管理型埋立
						M社	管理型埋立
						N社	管理型埋立
						O社	安定型埋立
						Q社	安定型埋立
						R社	安定型埋立
						S社	破砕(製紙原料化)
						T社	破砕(CPF燃料化)
						U社	破砕(燃料ﾌｯﾌﾟとして売却)
	ガラス陶磁器くず					W社	安定型埋立
						X社	安定型埋立
						Y社	破砕(路盤材として再生)
						自社社	破砕(瓦ﾌﾟｯﾌﾟとして再生)
						Z社	破砕(路盤材として再生)
						AA社	破砕(防護砂・改良土として再生)
			AB社	破砕	AC社	混練(石膏ﾍﾞｰﾄﾞ・土壌改良材原料として再生)	
				AD社	再生(石膏ﾍﾞｰﾄﾞ原料)		
			AE社	選別	AF社	破砕(石膏ﾍﾞｰﾄﾞ・土壌改良材原料として再生)	
				AG社	破砕、焼成(石膏ﾍﾞｰﾄﾞ原料、セメント原料として再生)		
廃プラスチック類				AH社	管理型埋立		
				AI社	管理型埋立		
			AJ社	破砕	AK社	破砕圧縮固化(RPF燃料固化)	
				AL社	破砕造粒(RPF燃料固化)		
			AM社	圧縮	AN社	圧縮(再生塩ビ管・再生燃料化)	
				AO社	安定型埋立		
				AP社	安定型埋立		
				AN社	安定型埋立		
				AO社	管理型埋立		
				AP社	破砕(製紙原料化)		
金属くず				AP社	破砕(ﾍﾞﾚｯﾄﾞ化・ﾌﾗｯﾌﾟ燃料化)		
			AQ社	圧縮・選別	AR社	安定型埋立	
					AS社	破砕(有価物として売却)	

## 別紙2：環境への負荷チェック（取りまとめ表）

		単位	2024年 産廃	2024年 現場	2024年 本社	2024年 産廃+現場
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO2	57,222	82,063	2,003	141,287
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	3,566			3,566
	中間処理量	t	3,625			3,625
	うち再資源化等量	t	2,640			2,640
	最終処分量	t	0			0
	中間処理後の産廃の処分量	t	985			985
	うち再資源化等量	t	752			752
廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	t	—	—		0.000
	産業廃棄物総排出量		3,624.53	11,531.54		15,156.07
	中間処理量	t	0	11,415		11,415
	うち再資源化量	t	0	10,488		10,488
	最終処分量	t	0	865		865
	再資源化率	%	0	91.0		91.9
総水使用量	公共用水域	m3	472	147	50	669
	下水道	m3	0	0	0	0
水使用量	上水	m3	472	147	50	669
	工業用水	m3	0	0	0	0
	地下水	m3	0	0	0	0
化学物質使用量		kg				
エネルギー使用量	購入電力	k w h	24,091	0	4,244	28,335
	建設現場等の購入電力	k w h	0	0	0	0
	太陽光設備	k w h	0	0	4,019	4,019
	ガソリン	ℓ	1,495	3,982	0	5,477
	軽油	ℓ	16,426	28,224	0	44,650
	その他	k w h	0	0	0	0
資源等使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				

収集運搬量及び中間処理量はmを t 換算した数値です。  
 中間処理後の産業廃棄物量の数値は計量による実測値です。  
 化学物質の使用はありません。

# 別紙3：受託した産業廃棄物の処理量

2024年度（2024年4月1日～2025年3月31日）

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬	木くず		1344.0	
	コンクリート・アスファルトがら		929.8	
	その他がれき類		311.6	
	ガラス・陶磁器くず		219.5	
	紙くず		0.0	
	金属くず		0.0	
	混合廃棄物		353.7	
	繊維くず		30.7	
	廃石膏ボード		75.7	
	廃プラスチック類		108.2	
	石綿含有産業廃棄物		193.1	
収集運搬量合計			3566.2	
中間処理	ガラス・陶磁器くず	選別	135.7	
	がれき類	選別	473.4	
	混合廃棄物	選別	2962.2	
	木くず	選別	7.6	
	紙くず	選別	0.0	
	繊維くず	選別	30.0	
	廃石膏ボード	選別	10.4	
	廃プラスチック類	選別	5.3	
うち再資源化等	ガラス・陶磁器くず	選別後 再資源化、最終処分	2639.6	
	がれき類	選別後 路盤材化	0.0	
	混合廃棄物	選別後 燃料チップ・紙・路盤材として再資源化、最終処分	0.0	
	木くず	選別後 燃料化	0.0	
	紙くず	選別後 紙として再資源化	0.0	
	繊維くず	選別後 ワラ堆肥化	0.0	
	廃石膏ボード	選別後 石膏粉・紙として再資源化	0.0	
	廃プラスチック類	選別後 燃料化、最終処分	0.0	
再資源化等量小計			2639.6	
中間処理合計			3624.5	
最終処分				
最終処分量合計			0	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	ガラス・陶磁器くず	安定型最終処分場（委託）	70.1
		がれき類	安定型最終処分場（委託）	162.3
	再資源化等	木くず	委託後、燃料チップ・紙として再生利用（売却）	7.6
		がれき類	委託後、路盤材として再生利用（売却）	311.0
		廃プラスチック類	委託後、燃料として再生利用(売却)、未再資源化分は処理業者に委託	5.3
		紙くず	委託後、紙として再生利用（売却）	0.0
		ガラス陶磁器くず	委託後、路盤材として再生利用（売却）	65.7
		繊維くず	委託後、ワラ堆肥として再生利用（売却）	30.0
		廃石膏ボード	委託後、石膏粉・紙として再生利用(売却)、未再資源化分は処理業者に委託	10.4
		金属くず	委託後、金属として再生利用（売却）	7.6
		混合廃棄物	委託後、チップ・セメント材・洗砂等の再生利用（売却）、未再資源化分は処理業者に委託	315.0
再資源化等量小計			752.5	
中間処理後処分量合計			984.9	

※中間処理量はmをt換算した数値です。

※中間処理後の産業廃棄物量の数値は計量による実測値です。

# 別紙4

株式会社力組では2011年より「エコアクション21」取得による環境方針を策定・実践しております。また、建物解体・リサイクル事業を通じて積極的にSDGsに取り組んでいます。

## ■ 環境への取り組み（廃材の再資源化）



株式会社力組では、建物解体で発生した廃材・産業廃棄物を自社のリサイクルセンターによる選別で徹底した再資源化を行っています。

## ■ 雇用促進と人材育成



事務職以外でも女性スタッフを積極的に採用することで男女の雇用機会均等や、各現場における専門的な知識・技術の習得ができるよう社員教育・安全対策に努めています。

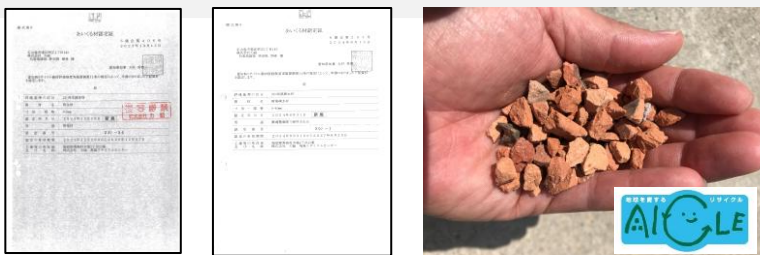
また、社員の健康維持のため移動車両による健康診断の実施や各種免許・資格取得支援を積極的に行っています。

## ■ 地域社会への貢献



地域社会への貢献として、日光川清掃活動、地元小学校への寄付活動を行っています。

## ■ 愛知県初！屋根瓦の「あいくる材」



解体から出た屋根瓦の廃材をリサイクルし、「瓦チップ」や「瓦砂」として再生する技術とその用途が認められ、愛知県初の屋根瓦の「あいくる材」として認定されました。

**「壊して、生かす。」**  
株式会社 力組